

『NHK海外たすけあい』が始まります!!

～たすけあいを忘れない。日本から海外へ恩返し～

日本放送協会（NHK）と共同で『NHK 海外たすけあい』キャンペーンが今年も12月1日から12月25日の25日間、実施されます。

このキャンペーンに寄せられる寄付金は、戦争や紛争、突然の自然災害により被災者になってしまった人々への救援、飢餓や疾病に苦しむ人々への支援等に使われています。

今年3月11日に発生した東日本大震災には、これまでの海外たすけあいの支援対象となった国や地域を含む世界中の人々から、たくさんの支援をいただきました。今回のキャンペーンには、その国々への『恩返し』の意味も含まれています。

世界中の国々、人々との『たすけあい』の気持ちを忘れないよう、今年も当支部はキャンペーンを行います。12月25日までの各土日は、赤十字奉仕団や青少年赤十字メンバー等と共に街頭募金を行いますので、皆様からのご支援、ご協力をお待ちしております。

街頭募金のスケジュールは下記のとおりです。

- 12月 3日（土） JR 姫路駅周辺
- 12月 4日（日） 阪神尼崎中央公園
- 12月 10日（土） JR 垂水駅周辺
- 12月 11日（日） 阪急宝塚駅前交通広場
- 12月 17日（土） JR 明石駅周辺
- 12月 18日（日） JR 芦屋駅周辺
- 12月 24日（土） JR 神戸駅周辺
- 12月 25日（日） JR 三ノ宮駅周辺

時間はそれぞれ13時から16時までです。

義援金は次の方法で受付いたします

ご持参の場合：

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK神戸放送局、義援金取扱い表示のある金融機関、農協及び漁協など

ご送金の場合：（郵便局・ゆうちょ銀行）

口座記号番号 01110-0-1136

口座加入者名「日本赤十字社兵庫県支部」

※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください



青少年赤十字提供プログラム

9月から11月の実施状況です。

この期間もたくさんの加盟校に「健康・安全」を始めとするプログラムをご利用いただきました。

「福祉教育」を受けられる学校も多くなり、当支部からは兵庫県内の図書赤十字奉仕団にご協力をいただき、点字講習や視覚障害者の介助としてガイドヘルプを子供たちに教えます。また、「国際理解・平和」を希望する学校には、姫路赤十字病院の高原看護師長やインドネシア人のスワルティ看護師、神戸赤十字病院の森看護師らに、海外救援の話や東日本大震災での活動の話や、平和な日本に住んでいるからこそ、改めて「平和」について考える機会をもたようです。

行事名	場	所
健康・安全	西脇市立西脇小学校	兵庫県立川西明峰高等学校
	高砂市立鹿島中学校	兵庫県立舞子高等学校
	尼崎市立大成中学校	兵庫県立伊川谷高等学校
	兵庫県立明石城西高等学校	兵庫県立宝塚東高等学校
	兵庫県立西宮甲山高等学校	
福祉教育	明石市立花園小学校	加古川市立平岡小学校
	高砂市立米田西小学校	三木市立三木東中学校
	神戸市立花谷小学校	明石市立王子小学校
	高砂市立曾根小学校	明石市立鳥羽小学校
	高砂市立中筋小学校	
国際理解・平和	高砂市立米田西小学校	神戸市立大池小学校
	たつの市立小宅小学校	兵庫県立宝塚東高等学校

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

いよいよ冬到来です。寒さが厳しくなると、体調の変化とともに、それによって病気になることも多くなります。温かい室内や車内と外との気温差、体温調整等、自己管理にはしっかりと気配りしてください。

日本赤十字社では、急な病気やケガ、災害から自分自身を守り、けが人や病人を正しく救助し、救急隊員等へ引き継ぐまでの正しい知識、技術を学ぶ講習会を開催しています。

小さい子どもに起きやすい事故や病気、お年寄りが健康で安全に暮らすために皆が知っておきたいこと、健康で安全な生活をおくるための基礎知識です。どうぞお気軽に受けてみてください。

内容	開催日
救急法基礎講習	平成24年1月7日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)	平成24年2月18日(土)・19日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	平成24年1月8日(日)・9日(月・祝)・14日(土)
	平成24年2月4日(土)・5日(日)・11日(土)
幼児安全法支援員養成講習(3日間)	平成24年3月3日(土)・4日(日)・10日(土)
健康生活支援講習(3日間)	平成24年1月21日(土)・22日(日)・28日(土)
	平成24年2月14日(火)・21日(火)・28日(火)

- 開催場所は、いずれも日本赤十字社兵庫県支部です。



パソコンから

詳細及びその他の講習についてはホームページで

赤十字 兵庫 検索

www.hyogo.jrc.or.jp

ひょうごの 赤十字



Contents

特集

兵庫県赤十字有功章等贈呈式

- 病院フェスタ 多可赤十字病院
- 兵庫県日赤有功会初尾会長が日赤紺綬・有功会会長協議会の会長に就任
- 第1回神戸マラソン開催！
- 『NHK海外たすけあい』が始まります!!
- 青少年赤十字提供プログラム
- 講習のご案内





兵庫県赤十字有功章等贈呈式 ～赤十字を支えてくださる方々へ感謝の気持ちを込めて～

11月22日、兵庫県公館で、『兵庫県赤十字有功章等贈呈式』を開催しました。

天候にも恵まれ、会場には約300人の参加者が来られました。支部長である井戸敏三兵庫県知事の挨拶で始まり、有功章等の贈呈へと進みました。

今回は34の個人等に、支部長から賞状や楯が贈られました。皆さん少し緊張した面持ちで壇上にあがり、一人ずつに「おめでとうございます」と声をかけられる支部長と、しっかりと握手されていました。

この代表受章された方々の他、大勢の方々に支えられている、赤十字活動の報告として、神戸赤十字病院から整形外科副部長の戸田医師による『東日本大震災発災直後からの初動班の活動一北へ、北へ！そして釜石に』と題した実践報告を行い、現地がどのようなになっているか情報収集が困難な中、いかにして釜石までたどりついたか、どのようにして救護活動を始めたかなど、誰もが初めて体験した初動班の活動を話しました。関心の高い報告内容に、皆さんは最後まで真剣に聞き入り、大きな拍手をいただきました。

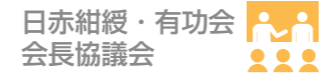
また、今回の司会進行役は、青少年赤十字加盟校の兵庫県立明石高等学校放送委員会の山根由子さん、平田江里奈さんにご担当いただき、しっかりと務めていただきました。



支部長から金色有功章を贈呈



青少年赤十字からは、兵庫県立明石城西高等学校が代表受章されました。



兵庫県日赤有功会朽尾会長が 日赤紺綬・有功会会長協議会の会長に就任

日本赤十字社各都道府県支部の紺綬会・有功会会長によって組織される「日赤紺綬・有功会会長協議会」の平成23年度総会が、10月27日に愛媛県松山市で開催されました。その席で兵庫県日赤有功会の朽尾太郎会長が同協議会会長に就任されました。

同協議会は昭和54年に、各都道府県の紺綬会・有功会相互の連絡協調と親睦を図り、日本赤十字社の社業振興に寄与することを目的として組織されました。

朽尾会長は平成16年から7年間、同協議会の副会長を務められ、今年度の総会の役員改選の議事の中で、前協議会会長相馬健一氏（山形県赤十字有功会会長）の推薦を受け、審議の結果満場一致で承認、選出されることとなりました。

同協議会は、平成21年の岐阜県赤十字有功会の設立をもって、全国47都道府県全てに単位会を持つ文字通りの全国組

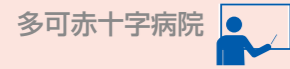
織となり、この協議会会長就任については、兵庫県日赤有功会にとっては勿論のこと、兵庫県支部においても大変名誉なことであり、今後の朽尾会長のご活躍をお祈りいたします。



近衛社長(写真中央)、前全国会長、全国副会長らと共に



全国協議会会長に就任された兵庫県日赤有功会朽尾会長(写真中央)



病院フェスタ 多可赤十字病院

～保健・医療・介護・福祉の連携一東日本を支援しよう!!～

10月23日、多可赤十字病院で、『第2回病院フェスタ』が開催されました。

土光院長の挨拶の後、空いっぱいに色とりどりの風船が放され、多可町立中町中学校吹奏楽部による演奏でオープニングです。

院内各所、救護資材備蓄庫、老人保健施設等、敷地内をフルに活用し、楽しみながら病院を知るコーナーや、職員のアイデア満載の楽しいイベントとなりました。

約600人の来場者の中には、家族で参加された方も多く、「こんなに楽しいイベントをしているとは思いませんでした」と、話す方もいらっしゃいました。

子供たちは、医師や看護師、救護員のユニフォームを着て嬉しそうにカメラの前でポーズをとったり、お薬の包み方を体験したり、とても楽しんでいました。

他にも、X線装置に乗ってみたり、普段は見ることのできない手術室を公開するなど、病院ならではの体験コーナーがたくさんあり、参加者は「次はなんだろう」と、ワクワクしながら、院内、施設を巡りました。

一方、屋外では東日本大震災等の災害でも活躍したエアータントの仮設診療所 dERU を展開、多可町赤十字奉仕団によるアルファ化米の非常食の試食コーナー、チャリティーバザーや多可町の地元の名物等も用意され、大いに賑わいました。

多可赤十字病院を色々な角度から多くの方々に見ていただけた、楽しい一日となりました。



かっこいいでしょ？
大きくなったら看護師さんかな。



お薬って、こうやって包まれるんだね。



第1回神戸マラソン開催！

～安心して完走していただくために、ちょっと体験『AED』～

11月20日、第1回神戸マラソン開催に先駆け、18日、19日にマラソン参加者25,000人が集まるという受付会場(神戸国際展示場)に、万一の時に備える意識を高めてもらうため、AEDの体験コーナーを設けました。

神戸マラソンのコースには1kmごとに救護所が設置されています。そして、すべての救護所にAEDが置かれました。ランナーたちの安全を守るために、神戸市内でも事前に7警察署の署員の方々が、AEDを用いた心肺蘇生法の講習会を受けられたそうです。

当支部職員も、参加者に対し「もしも走っている最中に、他のランナーが目の前で倒れた時のために、救命の方法とAEDのある場所を覚えておいてくださいね」と声をかけ、AEDだけで助かるのではなく、併せて心肺蘇生法を行うことが大切だということを伝えました。

このミニ講習、2日間で約150の方々に体験していただくことができました。少しの時間でしたが、マラソンに参加する皆さんとAED体験を通してふれあうことができ、また熱心に話を聞いていただいたことで、私たちが心から皆さんが無事に完走できることを願いました。



神戸マラソンで安心して走っていただくために、皆さんに心肺蘇生法とAEDを体験していただきました。